



平成 29年度第6回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 30 年 1 月 20 日(土)13:00~17:20

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏名	坪井	岡本	新井	渡瀬	長谷川	赤堀	大瀧	篠原	小嶋	福山	矢ノ下
出欠	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏名	若林	石垣	池谷	原田	久保田	古橋	渡邊	鈴木	寺田	諏訪	田森
出欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
監事	秋谷	紅林									
出欠	○	×									

開 会 定刻に至ったため、岡本副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、勤労者支援事業部の福山理事、地域活動事業部原田理事が指名された。

### 1 会長あいさつ

今年は静岡県栄養士会が法人化されて 25 周年を迎える。記念イベントを次世代に繋ぐ節目の事業にしていきたい。

静岡県医師会の建物が改築のため、一時県医師会事務局が駅南のビルに移る。

今回の理事会にも、様々な案件が出ているので、できるだけ大切に時間を使っていただきたい。

理事の皆さんは会員の意見を集約し、理事会の内容を各会員に知らせる役割も持つため、研修会など、会員が参集するときには、重要課題を冒頭に話をするということを必ず行っていただきたい。

栄養士、管理栄養士が抱えている大きな問題として、社会貢献や、県民に寄与するために、今何をすべきか、何が大切かということがある。栄養ケアステーションを介してやることは山積しているが、なかなか前に進まないこともある。それを打開するための大きな施策としては会員を増やしていく事である。会員を募ることに、理事はもちろん、運営委員、各会員の方に多大なご協力をいただかないといけない。会員が 50 人増えるとずいぶん展開が違ってくる。ここ最近の傾向をみると、若い会員が増えているが、年配の方の脱会者の方が若干多く、全体的に目減りしている。全国的にも同じ傾向であるが、それに流されては、私たちの力は国民・県民に分かってもらえない。期待も大きい

エビデンスを出さないと認められない。皆さんの力をいただいて、この成年にしっかり走り続けたい。

## 2 前回議事録の確認

- ・第5回理事会議事録は全会一致で承認された。

## 3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

### (1) 坪井会長

- 12/7 しずおか健幸惣菜レシピ打ち合わせ（静栄事務所）
- 12/9 栄養士制度検討委員会（日本栄養士会事務所）
- 12/10 東部ブロック栄養士交流会（日大三島）
- 12/11 ヤクルト本社との委託事業に関する打ち合わせ（静栄事務所）
- 12/11 第2回しずおか健幸惣菜レシピ選定検討会（静岡県庁内会議室）
- 12/12 第2回静岡県8020住民会議・オーラルフレイル対策推進準備委員会（県歯科医師会館）
- 12/14 東海大学食物栄養学科学生への講義（東海大学短期大学部）
- 12/14 県医師会主催「国民医療を守るための静岡県総決起大会」（ホテルセンチュリー）
- 12/15 第2回静岡県がん診療連携協議会支持療法部会（県立がんセンター）
- 12/18 第2回静岡県地域包括ケア推進ネットワーク会議（県庁内会議室）
- 1/15 静岡市静岡医師会定例会（静岡医師会会館）

### (2) 岡本副会長

- 12/25 平成30年度予算編成打合せ（静栄事務所）
- 1/15 静岡市静岡医師会定例会（静岡医師会会館）

### (3) 新井副会長

- 12/7 しずおか健幸惣菜レシピ打ち合わせ（静栄事務所）
- 12/11 第2回しずおか健幸惣菜レシピ選定検討会（静岡県庁内会議室）
- 12/25 平成30年度予算編成打合せ（静栄事務所）
- 1/8 日栄 第3回生涯教育委員会（日栄事務所）
- 1/15 静岡市静岡医師会定例会（静岡医師会会館）

## 4 報告事項

### (1) 研修部

#### ①12/10 東部ブロック研修会及び交流会

<静岡県東部の健康・栄養状況について>

- ・ 幼児期の食の現状と今後の取り組み（伊豆市） 伊豆市役所こども課 大瀧友恵氏
- ・ 県東部地域の健康課題とその背景  
静岡県健康福祉部健康増進課総合健康班 専門主査 赤堀 摩弥氏
- ・ 地域での活動～地域の現状を垣間見て～ 田方地区在宅栄養士 宮地あけみ氏
- ・ 「地域の問題を行動科学の視点で見直そう」 日本大学短期大学部食物栄養学科 篠原啓子氏

参加 27名（うち非会員1名）

・アンケート結果・意見

- ・「満足・やや満足」93%、「今後も企画してほしい」93%
- ・「他の職域の栄養士の話が聞けて良かった」
- ・「同じ職域の栄養士と交流したかった、どの職域の人なのかわかるようにしてほしい」
- ・「地域密着した会で、他施設などの意見が聞けて良かった」

(2) 日本栄養士会よりソリプロジェクト事業(若林)

厚生労働省補助事業の日栄主催「平成29年度栄養ケア活動支援整備事業」指導者研修が、平成29年12月16日、日本栄養士会事務所にて開催され、静岡県より3名（木下・紅林・若林）が参加した。下記のとおり説明があった。

日本栄養士会は、平成30年度には各都道府県において、各市町の栄養ケア会議に栄養士が参加するよう進めていくこととしている（ゼロワンマップの作成）。そのために、日本栄養士会からも行政に働きかけをしているが、各都道府県栄養士会でも働きかけを進めてほしい。（全国会長会議で依頼済み）。

また、栄養ケア会議に出る栄養士は、日栄が定める「指導者研修プログラム」による研修を受けた者を担当とするため、各都道府県において同研修会を開催し、栄養ケア会議に参加できる登録者を確保してほしい。この研修会は、生涯教育研修会の基本研修と位置づける。内容については、日本栄養士会より資料のDVDを各都道府県に送るので、それを使用し、今回の指導者研修を受けた者が伝達する研修会として計画してほしい。研修は、1日かけて開催し、内容は講義と演習とする。

(3) 福祉事業部（寺田理事）

1/13（土）東部地区にて福祉寺子屋を開催した。（13:30~16:10）

会場：サンウェル沼津

参加者：大須賀・菊池・芹澤・寺田（4名）

①趣旨説明

- ・仲間作りが大切であって、日頃から相談できる環境を栄養士会がバックアップしたい
- ・地域ごとに開催することによって、少しでも参加しやすくした

②参加者自己紹介

特養2（直営1） 老健2

③全国福祉栄養士研修会の報告

- ・来年度の医療介護同時改定に向けての作業について厚労省の塩澤課長補佐よりお話を伺った。
- ・主には地域包括ケアシステムの充実に向けて動きが出てきている。配食サービスのガイドラインも昨年3月に発表され、地域での更なる拡大が期待されるようだった。
- ・施設関連については、6月7日の介護給付費分科会で議論されており、栄養士会からも資料の提出がある。詳細についてはHPにて閲覧可能。概要もすでに発表されている。

④全体での話し合い

- ・食事形態
- ・栄養マネジメントについて
- ・人材について（厨房、栄養士、介護なども）

- ・監査の対応について
- ・災害時の対応について

#### 【感想】

今回の寺子屋も人数が集まらず最少人数での開催となったが、南伊豆町からの参加者からは、日頃の業務に悩んでおり、このような気楽に話し合える機会があつて嬉しいとの声を頂いた。

まさにこのような方のために開いている会なので、継続していきたい。沼津という場所もよく、施設も使いやすく無料で借りられるため、今後も利用していきたいと考える。仲間作りを進めて会員一人ひとりの声に応える事業部づくりを目指す。(寺田)

#### (4)平成 30 年度からのホームページのパスワードについて (若林理事)

会員証の発行にともない新パスワード H30 年の 4 月 2 日から午前 9 時から変更する。

#### (5)栄養ケア・ステーション事業報告 (久保田理事)

##### ①業務受託状況

特定保健指導 28 件、病態栄養指導 16 件、介護支援 20 件、食育支援 89 件、食と健康支援 25 件、計 178 件

##### ②職業紹介事業

求人件数 35 件 新規求職者数 9 名、紹介者数 8 名、雇用契約成立 4 件 (返事待ち 3 件)  
(有効求人 34 件、有効求職者 21 名)

##### ③平成 29 年度 第 2 回静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会定例会議 (報告)

日時・場所：1 月 15 日 (月) 19:15~20:15 ・ 静岡市静岡医師会館 会議室

出席者：静岡医師会 袴田会長、福地副会長、鈴木理事、吹田理事、飯室理事・事務局鈴木  
静岡県栄養士会 坪井会長、岡本副会長、新井副会長、久保田栄養 CS 部長、  
鈴木栄養 CS 副部長、森田会員、鈴木栄養 CS 事務局

協議内容：

- ・合同研修会 (平成 29 年 10 月 12 日開催) の報告と今後について

初めての試みであったが、時間、内容、懇親会も良好、盛況であった。

来年度も 10 月頃開催。会場は医師会館を使用する。参加呼びかけを近隣医師会 (清水、志太地区など) に対しても行う。

内容は食事、食物繊維、サプリメント、時間栄養学、食育など、食事からみる病気との関係をテーマとし、栄養士会側の演者 (1~2 題) とする。

次回 7 月定例会議にて内容、次第を決定する。

- ・平成 29 年度管理栄養士求人数の中間報告

静岡医師会求人 3 件 (うち採用 1 件、面接終了結果待ち 1 件、管理栄養士紹介 1 件)

- ・平成 30 年度診療報酬改定に関する情報について (情報提供)

\* 第 2 回定例会議は 7 月 9 日 (月) 19:15~

#### ④職業紹介責任者継続講習会 受講（報告）

日時・場所：12月21日（金）12:30～17:00 中野サンプラザ 11F「ブロッサム」

出席者：鈴木栄養 CS 事務局

・職業紹介事業所の運営について講習を受けた。

受講証明書交付（職業紹介事業許可更新申請に必要）

#### (6)その他

顕彰委員会の第3回の会議を行った。（どのように表彰に値するかを検討する委員会）

組織化し表彰される人を選んでいくために、ピラミッドの形で図でわかりやすいように示すようにしたい。

規定作成：新井先生、アルゴリズム作成：田森理事が担当

まずは、栄養CSと連携していくようにする。そのために、栄養CSにどのような分野に対応できるかを記載し登録して選出していけるようになれ

急な選出な場合は顕彰委員で対応していく。

総会時に披露し一般の会員にも周知してもらい、目標にしてもらいたいと考えている。

## 5 協議事項

(1) 三役会議にて協議した内容について

平成30年度にむけて、取り組む事業等について

☆公益社団法人 静岡県栄養士会 25周年記念式典および記念誌の発行

（法人から数えて、25周年を迎える）

新理事（平成30, 31年度）、旧理事（平成28, 29年度）および旧役員、運営委員にて運営し、盛会になるよう務める。

☆会員増対策に精力的に取り組む。減らさないで増やす方向を目指す。

収益事業がなくなり、会員の年会費（9,500円のみが収益）

経営を安定化させるために、会員数1,400名→ 目標1,450名（可能な限り1,500名）

☆栄養ケアステーションの充実および地域包括ケアとの連携

これらを整備するために、予算を確保したいのですが、現状厳しい運営になっている。

この機会を逃すと、栄養士の社会認知、地位向上に悪影響を及ぼしかねない。

中部（事務局）のみならず、東部、西部を拠点とした運営ができるように、意見交換を積極的に行い、平成31年4月には、運用を開始できる体制を整備したい。

上記☆3つは重点課題とする。

☆研修会の参加率アップならびに評価

現在、日栄は多くの事業に対して、積極的に評価を行うことを実施している。

参加者数の推移、参加効率、費用対効果など。事業を活性化させるためにも、赤字運用に対して、

メスが入っている。静栄においても過去 1, 2 年を振り返り、事業の見える化を図り、より良い研究会運営を検討する。申込キャンセルに対する対策なども検討する。

地区研の活性化を図るためのアイデアを募りたい。運営費を削ってしまい、苦勞をさせてしまっているが、改善策を 30 年度中に提案したい。

#### ☆生涯教育の運用

日栄主導の DVD の運用が開始されるが、様々な問題を含んでいる。(著作権の問題など) 静栄において、独自の DVD 作成ならびに運用を行い、基本(基礎)のボトムアップをはかる。

#### ○収益事業対策

「こども食堂などのサポート」、「栄養士のための管理栄養士国家試験対策講座」、「公認スポーツ栄養士による地域スポ少年団等の講演または演習」等々の三役からの案の一例。

皆さんから収益事業例の案を募りたい。

#### ○DAT の活性化

どこに対して、アピールを行うか。リーフレットの作成のみならず、行政と連携できる内容を検討

#### ○顕彰システムの構築

29 年度中に整備する予定。効率よく運営できるように、また会員にこのようなシステムがあることを周知していきたい。そのようなことから会員の継続につながっていくようにする。

☆印は積極的に行い、解決策を 30 年度中に整備する。

#### 栄養ケアステーションの充実および地域包括ケアとの連携

今後栄養士会で重点的に行っていききたいこと

各事業部からの意見

- 地域包括ケアセンターへのアンケートでは、「栄養士がどこにいるのか分からない」、「栄養ケアステーションの存在を知らない」といった意見があった。  
→栄養ケアステーションへのオファーに対応できていないのが現状。仕事以外でも栄養士会を通して県民のためにがんばるという共通認識をもった上で、栄養ケアステーションへの再登録もしていただきたい。
- 市町によって体制が異なるので、どこが会議等を主催し、だれが出席するのかを、全市町を調査して一覧を作成すべきでは。それをもとに栄養士会がどこまで携われるのかを検討する材料とすべき。  
→プロジェクトで市町村にいる栄養士人数などの調査を行っている。大分県などは福祉施設の栄養士が市町の会議などに出ていっており、そこから問い合わせもある。様々な会議に栄養士や地域の方が出ているため、地域を担当できる栄養士となっている。  
→会議に出て行っているが、栄養士会を通さず、直接連絡をしているのでこちらの実績にならない。誰が行っているのかを調査しなければいけない。

→会議に参加させることはできるが、会議が終わった後、具体的な段階に進んでからの管理栄養士の紹介が難しく困っているの、そこを充実させなければいけない。

- 医療では、常時勤めているという枠の中で何ができるか。最近、嚥下食など、医院の先生方の講演などの需要が高まっている。病院から派遣するという点については、自分の時間の中でできる方もいると思うので、協力できる人を増やしていく。

また、訪問指導を実際に行っている人から話を聞きたいという意見が多くなってきている。栄養士が訪問に出始めているということがあれば、そのようなノウハウの共有ができるし、今後訪問に出たい方などと一緒に話し合いができると思うので、そのようなことも今後やっていきたい。

栄養士側もそのような人の情報が見えないので、調査などを通して整理していきたいと考えている。

- 委託条件の中で、学校給食の経験3年以上または5年以上の管理栄養士の責任者を置いてくださいや、自衛隊は管理栄養士を置かなければいけないとか、条件が多くて、該当者がどこにいるのか探せない状況である。

→栄養士会とコラボして、安かろう悪かろうでグレードを下げる集団給食はもうやめましょうというように、管理栄養士から会社に提案することも大事。

- 会議などで、栄養士がどこにいるのか、どこにいったらいいのかということと言われる。今まで健康増進課には栄養士がいるが、高齢者福祉課にはいないという現状なので、高齢者福祉にも栄養士がいればと思う。

また、栄養士会が県の単位なので、各市町には栄養士に連絡する場所がないとも言われている。市町までは栄養士会が周知されていない。地域包括を考えたなら高齢者福祉課に、「栄養士会が相談にのる」というチラシを配ってもらう必要があるのでは。特に高齢者向けのほうは情報が来ないということなので、高齢者向けのところへの栄養士配置を要望する要望書を、会長から出してもらうべきではないか。

→要望書を作成し各市町をまわって、直接市長などに話をしにいきたい。

- 調査の結果、栄養ケア会議にでていた管理栄養士が非常に少なかった。また、ケアマネージャーをやっている管理栄養士は3名程度しかいなかった。訪問栄養食事指導が必要な状況のときには、食指や市の栄養士にお願いするということがあった。

健康づくり課には管理栄養士がいるが、高齢者福祉のところにはいないという点で、地域包括という高齢者のところにも栄養士がいればそこをお願いしたい。健康増進課の栄養士も大変であるため、栄養士会に依頼がくれば一番いいと思うが、そうでなければ、市の栄養士体制もしっかり整備されるのがいいのか。

→各市町も人口減になり、職員も減となってくる。そういう中で、正しい食生活は健康長寿につながり、市の支出が減るということで、管理栄養士の必要性を高めていく必要がある。

- 大学では、栄養ケアの教育は無理である。栄養ケアの教育は栄養士会が好ましいと思われる。地域の方を見るには、福祉や臨床の経験がないと難しいので、それを含めて大学のカリキュラムを考えていかないといけないと思う。

→養成校も、本来は現場の人たちの意見を聞いて実習内容を検討しなければいけないが、聞けていない。人がほしい現場と研修に行かせたい教育機関との間でシステムができれば、人は循環する。産官学連携がやっと広まってきている。

- 栄養士は高齢者福祉分野には配置されておらず、健康支援に配置されている栄養士も非常に忙しい。各市町の施設にいる栄養士に協力してもらうという選択肢しかないか。  
地域包括支援センターを立ち上げる場合、立ち上げに必死で運営まで考えが至っていないので、その時点からPRしなければいけない。こども課のほうでも、児童発達支援センターを立ち上げるために栄養士を必要としているが全くいない。ケアステーションとか栄養士会がいろいろな分野に関わって、もっとPRするべき。
- 学校での貢献できるとことは会員の確保。各研修会に誘客して、他の職種の方と交流させることで、包括ケアやケアステーションを知ってもらう必要がある。ある先生からは聞いた話だが、学校の情報を発信させたい場合は、学校の全行事をNHKなどのメディアに連絡している。栄養士会についても、そのような形で情報発信をして、栄養士会を知ってもらう努力をすべき。  
→例えば、学校で災害食を考えるのと同様に、敬老の日に子供たちに介護食などを教えて、孫が祖父母に作るなどの取り組みもできる。発想・視点を変えれば様々な取り組みができると思う。
- 学校は管理栄養士でなく栄養士でいいが、地域だと管理栄養士でなければいけない。学校の栄養士からは介護の資格などを特に取るつもりはないと言われた。食育を進めていくにあたり、管理栄養士の広い視点から考えなければいけない。そういう中で、栄養士の意識向上も必要では。  
→栄養士法改定の協議の中で、栄養士に価値観を付加させるために試験を取り入れるという意見がある。その場合、都道府県で試験を行うことが予想され、栄養士会も関係してくる。国民に食の大切さを上手に伝えることが重要で、そこがしっかりできれば免許や組織はいい方向に変わってくると思う。  
→以前、全国の会議でもそのような話題が出て、その時は管理栄養士に一本化したいという流れだったが、大学や短大の死活問題になるということもあり、答えが出なかった。  
→システムの問題と人づくりとを、並行して進めなければいけない。

## (2) 平成 30 年度の予算編成について

各担当理事からの事業計画・予算申請書を取りまとめた。

事業費については、これを基に計上し、管理費については今年度実績と来年度特別に計上すべき予算（25周年記念事業等）を加算し、旧様式により、平成30年度収支予算書を作成した。

現段階では、収支がマイナスとなっているため、収支のバランスをとり、適正な予算案としなくてはならない。今後、3月17日（土）の理事会において承認の運びとなるよう、各事業費予算の数字の調整に入り、でき上がり次第、正式な公益法人の収支予算書に作り変える。

（補足）

- ・各事業部から提出いただいた予算案から査定をしている。査定額に対する異論や事業内容や額の間違いがないか確認いただきたい。
- ・会員数の1%増として予算案を立てているが、179,500円の赤字となっている。会員増の見込みを増やすなど、何らかの手段でマイナス分を解消しなければいけないので、三役を中心に解消方法を検討いただきたい。
- ・特定資産取崩収入は、記念事業積立金から取り崩した分である。
- ◆ 予算額や事業案の修正については、総務部長を中心として各事業部と精査することとする。

以上について、全会一致で承認された。



(各意見等)

- 栄養ケアステーション推進事業は、事業収入が支出を上回っており、非常に効率がよく、収益事業となりうる。この収益により、栄養士会の会計にも貢献しているので評価していただきたい。
- 会員数の見込みを増やせば赤字は解消されるが、実際に達成可能な人数となるか不安がある。現在1%増ということで、14人増で見込んでいるので、赤字を解消させるには、あと20人程度必要となる。
- 寄付の額などにより税対策に繋がるということで、寄付を集める学会が出てきている。栄養士会は研修会を無料にしたことで収益も少なくなっている。研修会のあり方も含め、収益が上がるように知恵をいただきたい。
  - 研修会資料もカラー印刷が多かったり、当日キャンセルなどにより資料の残が出たりしている。資料代の徴収も検討すべきでは。
  - 資料残の現状などが会員にも示されていない。無駄になっている量や費用などが見える化すべき。来年度は見える化を進めていきたい。
  - 資料はpdfなどのデータを公開して、受講者がダウンロードや印刷をして持参してもらえばいいのでは。→データの公開を嫌がる講師がいるので難しい。
  - 平日の研修なら、仕事として受講できるが、土日の栄養士会が企画する研修は、受講者本院の時間とお金が必要となるので参加しないという人が多い。
- 実務研修②は受講料15万円が予算に含まれているが、実務研修①の受講料は含まれていない。20人の参加が見込まれるので、10万円程度の収入が予算案に入れ込めるのでは。
  - 今後調整をする。
- 同じような内容の研修があれば、各事業部同士で連携して合同で開催することも可。
- 研修の受講料は、その研修により柔軟に考えるべき。

### (3) 研修部 (渡邊理事)

#### ① 2月10日(土) 第3回静岡県栄養士大会について

- ・地域包括ケアシステムへの管理栄養士の参画 ～京都での挑戦～  
(一社)愛生会 愛生会山科病院 消化器外科部長 荒金 英樹先生  
申込状況 20名
  - ・第3回静岡県栄養士大会 ～学術研究会及び交流会～  
ポスター発表 (プログラム別紙参照)  
申込状況 25名 (+理事+発表者)
  - ・当日の運営について(資料参照)
  - ・会員より「管理栄養士になりたい中学生の男の子が栄養士大会に興味を持っているので、参加できるかどうか」との問い合わせあり。⇒参加可で回答
- 発表について、静岡がんセンターの青山さんが当日参加できないと申し出があった。青山さんの前に発表する同じ静岡がんセンターの勝亦さんに、合わせて発表してもらおうべきか。
    - 取り下げるか、代理に発表してもらおうか本人の意向により決定する。
  - 503会議室はドリンクサービスがなく集客に不安があるので、503会議室の展示を504、505

会議室に振り分けては。

→そのとおりとする。503 会議室は役員専用部屋とする。503 会議室担当も振り分ける。

- ごみ（配布物等も含め）の管理等も担当を決めてチェックをすること。
- アンケートに次の内容を追加する。
  - ・各項目に回答を選択した理由を記入する欄
  - ・参加回数
  - ・発表方法に対する要望
- 発表に空いている枠があれば、ケアステーションの紹介をさせてもらえないか。  
→20 番として追加することとする。
- 記念事業の紹介も決まった内容については行っていく。
- 研修部も来年度の予定が決まれば告知していく。

② 2 月 18 日（日） 「調査研究のはじめ方」研修会

- ・多様なニーズに対応できる管理栄養士・栄養士のための調査研究のはじめ方(講義)

申込状況 12 名（うち 2 名は山梨県会員）

- ・研究計画の作成（演習）

講師：浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座 岡田 栄作 先生

会場：東海大学短期大学部 5 4 2 講義室（5 号館 4 階）

申込状況 11 名（うち 2 名は山梨県会員）

③ 3 月 11 日（日） 「栄養管理」生涯教育基本研修

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 2 階 大会議室

時間：9：30～16：20

講師：理事

④ 平成 30 年度 定時総会

開催日：6 月 9 日（土）

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール

展示会場：小ホールと 501 会議室（定員 99 人）を仮予約

講師：決定

⑤ 栄養の日イベント(公開講座)

(株)ヤクルト本社より、地方版「ヤクルト健康提唱のつどい」の静岡県での開催要請あり

開催日時：平成 30 年 6 月～11 月、協賛金：400,000 円（税別）

講演内容：一般公開講座（登壇者複数人の場合は、一題は乳酸菌関係でヤクルトより講師を派遣）

⇒栄養の日イベントとして、8 月 4 日（土）に公開講座の開催を提案

会場の仮予約：あざれあ大ホール(午前 9：00～12：00)、大会議室（1 日 9：00～17：00）

一般公開講座をやることは決定。講座は午後で、静岡駅から近いところで実施することとする。

場所、日時、テーマが決まったら、広報活動は早め実施する。

## ⑥ 平成 30 年度 生涯教育実務研修

平成 30 年度の計画に向けての調整 (案)

5 月～7 月	よりソリプロジェクト
6 月 9 日 (土)	総会 講演会
8 月 25 日 (土)	「これからの学校の食育研修会」 赤松利恵先生 学校 1.5 単位
9 月 8 日 (土)	静栄 DAT
9 月 29 日 (土)	「高齢者」吉田貞夫先生 高齢者 医療 2 単位
10 月 28 日 (日)	「認知症」土井雄彦先生 医療・(研究教育) 1 単位 「栄養診断」足立香代子先生 医療 2 単位
11 月末	「食育」田隆子先生 地域・公衆・勤労 1 単位
12 月 2 日	研究教育
2 月	栄養士大会 1 単位
未定 研究教育	2 コマ予定
未定 福祉	寺子屋
未定 福祉	在宅介護者食支援研究会 (西部)

●研究教育：7 月 1 日か 8 日、11 月か 12 月に実務研修を入れたい。

## ⑦平成 30 年度 生涯教育基本研修 (静岡県版)

- ・研修部及び地区研修の企画以外での、DVD 研修会の運用について
- ・申請書を提出⇒3 役の承認⇒開催時理事 1 名以上の参加及びアンケートを必須で提案したい
- ・日栄ホームページへの登録の検討
- ・日栄と静栄の動きが違う為注意すること

小規模のグループ対しても実施していくために、メルマガにて実施してもいいのではないかと  
いう意見も出たが、著作権等難しい問題もあるので、メルマガも公開も実施しない方向で決定。

## (4) 情報管理(若林理事)

### ① ホームページの改善について (トップページの Flash 使用の件)

Flash は、ウェブ上で画像を切り替えながら表示したり動画を閲覧したりするもので、最近アド  
ビシステムズ社の Adobe Flash Player に、ウェブを閲覧することで DoS 攻撃や 任意のコード  
(命令) を実行される可能性がある脆弱性 (APSB17-04) が言われている。これらの脆弱性を悪  
用された場合、アプリケーションプログラムが異常終了したり、ハッカーによってパソコンが制  
御されたりして、様々な被害が発生する可能性がある。

現在、静岡県栄養士会のホームページでは TOP ページ上で、富士山の写真のところをフラッシュ  
で動かしているが、この問題からのリスクを避ける為、スライダーへ変更したいと考える。(1600  
0 円くらい) 早急に対処したいので、準備出来次第、更新を行いたい。

- ・危険性のあるフラッシュの停止のみとし、スライダーへの変更は行わないことに決定。

- ・ホームページ全体（特にトップページ）のリニューアルを計画的に行っていくために、来年度1年かけて、各県の栄養士会ホームページ（PC版・スマホ版）を研究していくこととする。そのため、今後理事会の冒頭などに、ホームページに関する検討会として時間を確保していくこととする。ホームページは情報管理だけでなく、内容検討は広報部とともに担当しているため、次回の部会が2月18日に開催予定なので、その結果を次の理事会で報告する。以上について、全会一致で承認された。

## ②被表彰者のコメント等のホームページ掲載時期について

現在は1月の更新日に前年の被表彰者を掲載しているが、そうすると早い方は表彰が2月にある方は年度が一年前の方や6月総会の会長表彰から半年以上たってしまうことや、短い方は11月の表彰式ですぐに掲載となることでかなりばらばらである。いまのシステムでは無理があるのではないか。

- (案) 4月1日 前年度の 県知事表彰（コメント）及び公衆衛生協会表彰（コメント）  
10月1日 当年度の 静栄会長表彰（氏名のみ）及び厚生労働大臣表彰（コメント）  
随時更新していく。表彰があるたびにホームページ更新に合わせて更新して行く。  
現状維持→次回に持ち越し

次回理事会までにどのようにしたらよいかホームページを見て考えてくることとする。

## (5) 栄養ケア・ステーション登録者の再調査と申請書（案）について（久保田理事）

- ・栄養ケア・ステーション登録者の現状把握の為、申請書の内容を変更。  
現在の登録者も再提出していただき、また登録者を増やす目的で趣旨説明の文書作成。

全員登録の目的や、入会時の提出書類との重複などの面から検討する必要がある。  
将来的にホームページにマイページを作成し、そこから登録できるようになるのが好ましいか。

- 次回に持ち越し  
次回理事会までにどのようにしたらよいか考えてくること

## (5) 他団体主催研修会の生涯教育単位認定申請について（寺田理事）

研修会名：静岡災害リハ実務者研修会  
主 催：静岡県リハビリテーション専門職団体協議会  
後 援：静岡県栄養士会・JRAT 静岡  
開催日時：1月21日（日）9：55～16：00  
会 場：静岡県地震災害センター 3階 大会議室  
単位認定：90-110 1単位（講義）、90-210 1単位（演習）  
以上、全会一致で承認された。

## (6) 会員の承認について（岡本副会長）

全会一致で承認された。

## (7)その他

### ①静岡県老人福祉施設協議会からの申し入れについて（事務局）

1月17日（水）静岡県健康増進課を通し、下記申し入れがあった。

静岡県老人福祉施設協議会のホームページに、平成30年度の静岡県栄養士会の研修会一覧表を掲載させていただき、同老人福祉施設協議会会員（施設に勤務する栄養士、他職種）のスキルアップ、人材育成のため、研修会情報を提供させていただきたい。掲載時期は3月頃を考えている。（新規の試み）

以上、全会一致で承認された。

## 6 連絡事項

### (1) 平成30～31年度役員、日本栄養士会代議員の選挙告示について

告示第1号 平成30年1月22日付として、全正会員に告示する。（資料参照）

#### 【選挙すべき役員】

①理事22名（代表理事3名、職域理事7名、事業理事12名）

※立候補者は、2年以上継続正会員である者とする

②日本栄養士会代議員8名（補欠1名を見込む）

※平成29年12月21日付日栄発第29-333-1号通知による）

#### 【立候補について】

下記、①②により、2月8日（木）（当日消印有効）、「静岡県栄養士会選挙管理委員長」宛、「立候補届在中」と朱書きし、「郵便書留」にて本会事務所に郵送する。

①理事立候補：「公益社団法人静岡県栄養士会役員立候補届」（様式1）

「静岡県栄養士会役員選挙公報届」（様式3）

②代議員立候補：「公益社団法人日本栄養士会代議員立候補届」（様式2）

「日本栄養士会代議員選挙公報届」（様式4）

※選挙告示は、2月1日にホームページにアップする。（様式のダウンロードが可となる）

#### 【選挙について】

2月9日（金）18：00～「第2回選挙管理委員会」を開催

立候補者の資格審査を行い、立候補者を決定する。

2月15日付で、全正会員に選挙公報と投票用紙（はがき）を郵送し、公示とする。

投票期間：3月7日～3月31日まで

#### 【投票の効力について】

投票は、正会員の過半数以上の投票が無ければ有効とされない。

必ず、全正会員が投票するよう、是非、積極的に、各理事から会員への呼び掛けをお願いしたい。

#### 【役員候補者の決定】

4月7日（土）13：00～「第3回選挙管理委員会」を開催

開票（選挙管理者立会い：木村郁代会員・芹澤陽子会員）

立候補者への選挙結果通知

## 【選挙結果の発表】

開票後、速やかに全会員に通知する。

## 【当選者の決定及び承認】

6月9日（土）定時総会において、会員の決議により承認となる。

※役員選挙に係る総会の決議は、書面表決を含み、総正会員の過半数の出席が必要。

## 7 その他

- ・25周年記念事業について

参加者を100人～130人と想定し、アソシアまたはセンチュリーで実施することとしたい。

日付：H30年11月10日（土）または17日（土）

時間：昼食をまたぐ時間を第一候補とする。ホテルの予約の都合で変更となる場合もある。

- ・今後の行事予定の変更等があれば事務局まで報告していただきたい。

## 8 確認事項

- (1) 行事日程の確認について

特になし

- (2) その他

特になし

以上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成30年1月20日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 輝井厚 

副会長 岡本庸子 

副会長 新井英一 

監事 秋谷真志子 